

平成22年 第2回定例会

予算決算常任委員会 政策総務分科会 提出資料

◎議案事項

- 1 議案第67号  
平成22年度三重県一般会計補正予算（第9号）について . . . . . 1

平成22年11月30日

総 務 部

厳しい経済情勢や先行き悪化懸念を踏まえ、追加的な雇用・経済対策をできるだけ早期に実施するとともに、引き続き厳しい状況がつづく新卒者等の就職について、さらなる就労支援と雇用機会の提供を行います。

### 雇用・経済情勢

○新卒者をはじめとする若年者の雇用をとりまく環境は厳しい状況にある。

県立高校卒業予定者就職内定率

	9月	10月
H22年	48.4%	72.9%
H21年	52.3%	72.4%
H20年	66.3%	83.5%

○景気は、このところ足踏み状態となっている。また、失業率が高水準にあるなど厳しい状況にある。  
(H22.10.19内閣府月例経済報告)

業況判断指数(日銀短観)

業種	H20.3	H21.3	H22.9
大企業	10	-10	-10
中堅企業	10	-22	-22
中小企業	10	-22	-22
製造業関係	10	-22	-22

県内有効求人倍率(季調値)

時期	倍率
H20.11	0.95
H21.6, H21.7	0.40
H22.9	0.62

### 雇用対策

#### 雇用につながる就労支援 216(百万円)

高校生の内定獲得につなげることをねらいとした就活ゼミや、介護職員の処遇改善などの就労支援に取り組みます。

- ◆高校生内定獲得緊急支援事業(教育委員会)
- ◆介護職員処遇改善交付金事業(健康福祉部)
- ◆緊急漁業就業促進事業(農水商工部)

など

#### 雇用創出基金事業 105(百万円) 159人

若年者にも配慮しつつ、切れ目ない雇用創出を行うため、年度内の新たな雇用を創出する追加対策を実施します。

- ◆産業人材育成事業(生活・文化部)
- ◆観光関連緊急雇用創出事業(農水商工部)
- ◆障がい者雇用モデル構築緊急雇用創出事業(生活・文化部) など

(参考) 雇用創出基金事業にかかる債務負担行為の設定 [12月補正予算(その1)および(その2)]

新卒未就職者などの若年者の雇用を含め、平成23年度4月からの切れ目のない雇用創出を行うため、債務負担行為を設定します。

- ◆未就職卒業者地域人材育成事業
- ◆介護雇用プログラム緊急雇用創出事業
- ◆中小企業向け若年人材育成緊急雇用創出事業 など

### 経済対策

#### 新たなチャンスづくりへの支援 82(百万円)

- ◆試作品開発支援緊急経済対策事業(農水商工部)
- ◆緊急経済対策設備投資促進補助金(〃) など

#### 地域経済活性化への支援 210(百万円)

- ◆森林整備加速化・林業再生基金事業(環境森林部)
- ◆ものづくり中小企業の市場化緊急支援事業(農水商工部)
- ◆観光需要創出キャンペーン事業(〃) など

(参考) 工事請負契約の早期締結 [既決予算の早期執行]

地元の経済・雇用に資するため早期の工事着手を図ります。

- ◆一般国道311号遊木バイパス道路改良工事 1,659(百万円) など

#### 中小企業等の経営安定化への支援

- ◆中小企業金融対策事業(農水商工部)

年末から年度末における中小企業者の資金繰り支援(融資枠80億円)

### 生活対策

#### 生活への支援・働きやすい環境づくり 194(百万円)

- ◆障害者自立支援緊急対策助成事業(健康福祉部)
- ◆地域自殺対策緊急強化事業(〃)
- ◆母子家庭自立支援給付金事業(〃) など

第十一次対策(12月補正予算(その2))の内訳

雇用対策	321(百万円)
経済対策	292(百万円)
生活対策	194(百万円)
<b>計</b>	<b>807(百万円)</b>

(参考: 第一次~十次対策 実績計 685億円余)